



令和7年度 戸倉小学校だより

№.6 2025.7.24 Thu.

なかよし(人権教育)旬間

6月23日(月)～7月4日(金)は、なかよし旬間でした。よりよい人間関係づくりを目指して、「優しさ」「思いやり」「いじめ」等について各学級・学年で考える機会としました。

校長講話 「こころ」のおはなし

■目には見えない「こころ」

突然ですが、皆さんの目はどこにありますか？手で押さえてみてください。鼻は？ 耳は？ 口は？

では、「こころ」はどこにありますか？

これはちょっと困ってしまいますね。それはそうだと思います。だって、「こころ」は目には見えないから。

もし、人の「こころ」が見えたとしたら、どんな形で、どんな大きさで、どんな色なのでしょう。

きっと人それぞれ、形も大きさも、色も、違うのだらうと思うのですが、今日は、その、目には見えない「こころ」について皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

「こころ」は目には見えないので、今日は、このグラスを「こころ」に例えて考えてみたいと思います。全校で見るにはちょっと小さいので、教頭先生に画面に映してもらいながらお話するので、後ろの方の人はスクリーンを見ながら聞いてください。

■満たされていく「こころ」

これはお友達の「こころ」だと思って聞いてください。今、この「こころ」のグラスは空っぽですが、「こころ」が空っぽってことはないですよ。毎日、学校に通っていると、いろんなことがあります。

例えば、どんなことがありますか？勉強したり、運動したり、休み時間に友達と遊んだり、いろんなことをおしゃべりしたり、おいしい給食を食べたり…。最

近ではプールが始まりましたね。少し前なら運動会もありました。(透明な水をグラスに注いでいく)

こうして、いろんな経験をしながら「こころ」はだんだんと満たされていきます。



■豊かに育まれる「こころ」

ただ、私たちはロボットではないので、ただ単に、それをやっているのではなくて、その度に、いろんな気持ちがあいてきます。皆さんは、最近学校でうれしかったことはどんなことでしたか？

今日は「楽しい」とか、「うれしい」とか、「おもしろい」とか、そういった感情を色で表してみます。

戸倉小の皆さんはいつもキラキラしているので黄色にしてみます。

「ひらがなが書けるようになった!」、「漢字をたくさん覚えられたよ!」、「計算ができるようになったよ!」、「絵が上手になった!」、「友達と遊んで楽しかった!」、「児童会、頑張ったよ!」(グラスの中の水を色付けしていく)

このように、今、皆さんは、いろんな経験や体験をしながら、体や知識だけでなく、一人一人が色鮮やかに、自分の「こころ」も豊かに育てているところだと思うのです。



■「こころ」を濁らせる心ない言葉

しかし、たくさんの人と一緒に生活をしていると、時にはいやなことや悲しい思いをすることがあるかもしれません。

例えば、悪口を言われたり、陰口を言われたり…。皆さんは、どんな言葉が嫌ですか？言われたくない言葉を教えてくれる人いますか？

「馬～鹿!」「ア～ホ」「はあ?」「ウザッ」「こっちに来るな」「くそじゃん」「ぼっち」「よわむし」「きもい」「むかつく」「ザコ」「死ぬ」「消えろ!」

ここに黒い墨があるのですが、今日は、そんないやな言葉や意地悪な言葉を、黒い墨に例えてみます。

ある学校のあるクラスでは、友達の悪口や陰口、いじわる、相手をからかうような言葉やちくちく言葉が平気で飛び交っているとします。果たして、そんな言葉を言われた人の「こころ」はどうなってしまうのでしょうか。

(「馬～鹿!」「ア～ホ」「こっち来るな!」「はあ?」「ウザッ」「いい子ぶってるんじゃない」「くそじゃん」「よわむし」「きもい」「むかつく」「ザコ」「死ぬ」「消えろ!」と言いながら黒い墨をグラスに一滴ずつ入れていく)



■言葉の暴力

相手を馬鹿にする言葉、からかう言葉、攻撃する言葉、意地悪な言葉、自分勝手な言葉は、友達の「こころ」を一瞬で濁らせてしまうことがあります。これは言葉の暴力です。

■目には見えないからこそ

最初に話したように、「こころ」は目には見えません。だから、私たちたちは、自分の感情を優先して、つい相手の「こころ」を傷つけるような言葉を使ってしま

うことがあります。でも、相手の「こころ」は見えないので、相手の「こころ」を濁らせてしまっている、傷つけていても、それに気づくことができないことがあります。気づいていても、見えないふりをしてしまうこともあります。

これは、私たち大人も含めて、言葉を使うすべての人が気を付けなければいけないことだと思うのです。どうですか？ みなさん。ちょっと、振り返ってみてください。

自分が普段使っている言葉で、相手の「こころ」、友達の「こころ」を濁らせていませんか？傷つけていませんか？誰だって、自分の「こころ」は濁らされたくはないですよね。これは、相手も同じなのです。

■取り戻すための努力の大変さ

では、濁ったこの「こころ」をもとに戻してみたいと思います。濁ったままの「こころ」から、さっきのように、またいろんな経験や体験を重ねていくとします。(透明の水を、一杯ずつ入れていく)

始めと同じ量の水では元に戻りません。
(2杯、3杯…、5杯入れる)

一度濁った「こころ」を元に戻すということ、一度傷つけられた「こころ」を元に戻すということは、そんなに簡単なことではありません。つまり、言葉の暴力を受けた人は、元の自分の「こころ」を取り戻すために、その何倍もの勇気と努力が必要になるのです。

だから、校長先生は、相手が傷つくような言葉、相手を傷つけるような言葉を、簡単に使ってほしくないと思います。戸倉小の皆さんには、そんな言葉を平気で使う人になってほしくないと思っています。

■「こころ」を壊す暴言・いじめ

このことは、言葉の暴力だけでなく、いじめにも当てはまります。暴力や仲間外し、無視や意地悪、ものかくしなど、人をいじめる行為は、相手の「こころ」を簡単に濁らせます。傷つけます。

今日は、「こころ」ない言葉を黒色の墨で表しましたが、もしかしたら、その言葉や行為が、その人にとって、「こころ」そのものを壊してしまうハンマーのようなものだったとしたらどうでしょうか？もし、このハンマーでグラスを壊してしまったら、もうこのグラスを元に戻すことはできないですよね。ただのグラスならば代わりのグラスを買ってあげればいいのかいけれども、代わりの「こころ」なんてどこにも売っていませんから。

■校長先生の願い

「こころ」は、目には見えません。だからこそ、私たちには相手の気持ちを考えるということがより大切になります。

校長先生は、この戸倉小学校がとても大好きです。戸倉小の子どもたちがとても大切です。そんな戸倉小の仲間を、皆さんにも大切にしてほしいと思っています。

来週から、なかよし旬間が始まります。友達と仲良くするということについて、全校のみんなですっかり考えあう期間です。今日、考えた「こころ」のことで

も、思いやりのことでも、やさしさのことでも、仲間を大切にするということでもいいと思います。逆に、いじめのことや言葉の暴力のことでもいいと思います。先生や友達とたくさん考えて、たくさん話してみてください。

考えたことや話したことは、また校長先生にも聞かせてくださいね。そして、子どもたちも、先生方も楽しい学校を一緒に目指していきましょう。

今日は、「こころ」についてお話ししました。
最後まで、聞いてくれてありがとう

(6.20 Fri.)

授業参観ありがとうございました

6月27日(金)の授業参観に、大勢の保護者の皆様にご来校いただきありがとうございました。今回は人権教育の視点で授業を行いました。学年に応じて、「なかよし」「やさしさ」「思いやり」等について考えました。暑い中でしたが、子どもたちも一生懸命に考えることができたと思います。

PTA 人権講演会では、清泉大学の塚原成幸先生をお迎えし、「笑顔で築く信頼関係 ～大人が笑えば、子どもも笑う～」と題してお話ししていただきました。道化師の格好で登場し、いくつもの素晴らしい芸を見せていただきました。

いろんな角度から「人権」について考える一日となりました。



中学生の職場体験学習よい

中学2年生が、将来を見据え、今後の自分の進路を考える機会として2日間やってきました。低学年に読み聞かせをしていただいたり、クラスによっては算数や生活科、書写の時間に入ってもらったりしました。

何度も読み聞かせの練習をしたり、きちんと教えられるかドキドキしながら教室へ向かったりしたのですが、終わった後はニコニコして、子どもたちの反応やかかわりの良さを語ってくれました。この経験を、今後の人生の選択に生かしてほしいと思います。



キャンプに行ってきました

7月3日4日と、心配されていた天候をなんとかくぐりぬけながら、宿泊訓練の全行程を遂行することができました。

5年生として「どんなキャンプにしたいか」という学年集会からスタートし、思いを一つにして、計画・準備に取り組んできました。

キャンプ1日目の三峯山登山では、暑い中でしたが、4年生の遠足で行った葛尾城址の時のように、みんなで励まし合って登り切ることができました。クタクタになって山頂につきましたが、お家の方のお弁当のおかげで元気をチャージすることができました。

それぞれの係活動では、班長さんが終始人員点呼をしたり、仲間の体調を気遣ったりと、リーダーシップを発揮して行動する姿があり、とても頼もしかったです。自然の家では宿舎・保健係さんが中心となって、宿舎の過ごし方やベッドメイクの仕方などを丁寧に仲間に伝えながら、マナーを守ってきれいに使うことができました。飯盒炊爨や食事の際には、食事係さんが、班の仲間と協力して火起こしや食事の準備・片付けを行い、自然の中で楽しくおいしく食事をしました。夜のキャンプファイヤーでは、レク係さんが司会進行をし、山の神様からいただいた5年生の誓いの炎を囲みながら楽しくゲームをしたり、歌ったり踊ったりして、盛り上がりました。松組も竹組も、男子も女子も関係なく、みんなで一つのことを楽しむこの力は、5年生の宝だと、改めて実感しました。

夜は、疲れてぐっすり眠れた人、初めてのお泊りで興奮してなかなか眠れなかった人と、それぞれだったかと思いますが、2日目も大自然の中で元気に過ごし、ホットサンドや鍋敷きを作って無事に学校に帰ってくることができました。

この二日間の子どもたちの大きな成長を感じることができ、とても頼もしく、これからの学校生活にどう生かしていくってくれるのか期待しながら、引き続き支援していきたいと思います。

～5学年だよりより～



社会見学に行ってきました

6年生は、長野県立歴史館、千曲市森將軍塚古墳館へ行ってきました。県立歴史館では、説明をよく聞き、一生懸命にメモを取る姿がありました。実際に見て、聴いて、触って、感じたことで、より一層古代に思いを馳せ、学習を深めました。あいにくの雨模様でしたが、森將軍塚古墳まで上がり、素晴らしい景色を眺めることができました。



今年のプール 終了です

6月11日にプール開きをして1か月余りのプールの学習が終わりました。今年は暑い日が続いたので、プールでの授業を楽しみにしていた子どもたちが多かったと思います。学年の実態に応じて、水慣れ・水遊びから、泳ぎに向けた呼吸法・けのび・バタ足、そしてクロール・平泳ぎなどの泳法を学習しました。また、最後の時間には、2年生は生活科と兼ねてペットボトルで船を作って遊んだり、高学年は着衣泳をして服を着た状態で水の中に入った時の感覚や対処法を学習したりしました。

まだまだ暑い夏が続くので、家族でプールや海水浴などに出かける機会もあると思います。くれぐれも事故や大けががないように、バディーの確認、準備体操、ルールを守るといった、学校のプール学習で行っていたことを生かして、楽しんでほしいと思います。



戸倉小 コミュニティスクール

ワックスがけ

7月10日(木)、11日(金)の2日間、ワックスがけを行いました。毎回、学校支援ボランティア(4月に保護者の皆様にお願ひし、登録していただいた方)や子どもを守る会の皆様にもご協力いただいています。今回も、2日間延べ10名を超える皆様にご協力いただいたおかげで、早く、広範囲の場所を行うことができました。ピッカピカの床で学習できるのは、うれしいことですね。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



8月の予定

1日(金)	夏季休業(7/25~8/25)
9日(土)	学校閉庁日(~17)
20日(水)	集金振替日 合同巡回
26日(火)	二学期始業式 集団登校(~9/1)
27日(水)	発育測定6年 PTA 常任委員会③
28日(木)	6年セイジ・オザワ松本フェスティバル 5年発育測定 来入児保護者会①
29日(金)	6年租税教室 4年発育測定

明日から夏休み

明日7月25日(金)から8月25日(月)まで、32日間の夏休みとなります。これまでの学習の復習をしたり、じっくりと研究や探究活動・読書に取り組んだりするなど、普段なかなかできないことに挑戦するチャンスです。計画に従って、楽しく、有意義な休みにしていただきたいと思います。

特に、以下の点は学校でも指導しておりますが、ご家庭でもお子さんと一緒にご確認いただき、安心・安全な夏休みになりますよう、ご協力のほどお願いいたします。

1 交通安全に気をつけて

特に、横断時の左右確認、急な飛び出し禁止、並列禁止は、歩行者としても自転車としても守るべき事柄です。また、自転車のヘルメット着用は、頭を守るための必須アイテムですので、必ず正しく着用しましょう。

2 水難事故に気をつけて

- ・川(河川敷含む)や池、湖、海等、水の近くには子供だけで行かないこと。
- ・家族で出かける場合にも、お家の方から見える範囲で、安全が確認できる場所にいる。一人では、いないこと。
- ・溺れている人を見たらすぐに近くの人に知らせること。

3 お金の管理に気をつけて

お出かけや帰省等でお小遣いをもらったり、お金を使ったりする場面が増えることが予想されます。学校では、子どもだけで遊びに出かける場合には、トラブルを避けるため、金銭・ゲーム機・お菓子等の持ち出しや、ゲームセンター(ゲームコーナー・ガチャガチャができる場所を含む)・商店への立ち入りを禁止しています。ご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

そのほか、夏休みのきまりにつきましても、別紙「夏休みの生活について」をご確認ください。

夏休み中の学校への連絡について

- 大きなけがや病気、事故等がありましたら、学校(電話275-0072)までご連絡ください。土・日・祝日、学校閉庁期間(8/9~8/17)中は、学校職員が不在ではありますが、緊急の場合にはお電話でご連絡ください。転送電話でもすぐに電話に出られない場合は、こちらから折り返しご連絡いたします。
- 出席停止に係る各種感染症等に罹患した場合の連絡は、8月18日以降の発症の場合(新学期の登校に影響がある場合)のみ、学校までご連絡ください。

皆様のおかげで無事に1学期を終えることができました。ありがとうございました。2学期もよろしくお祈りいたします。